

平成 19 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 田原 武彦

最終学歴	中京大学大学院体育学研究科修士課程修了
取得学位	体育学修士
所属学会	日本体育学会、日本スポーツ方法学会、日本運動・スポーツ科学学会、日本スキー学会、バレーボール学会
現在の専門分野	スポーツ指導・方法論
研究課題	バレーボールに関する戦術及び技術分析について

【社会的活動】

日本バレーボール協会医科学サポート委員会調査部委員（1995年から）

講座講師 2008年2月斑鳩町生涯学習講座

【学内活動】（学内職歴を含む）

教職・司書・健康スポーツ科目主任、人事委員、学生相談員

男子バレーボール部顧問

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（学術論文） 1 国際女子バレーボール試合における各ローテーションフェイズのサーブレシーブの評価に関する研究	共	2008 3月 年	日本バレーボール協会医科学委員会 テクニカルスタディー 2007 「日本バレーボール協会」	バレーボールの試合の流れの分析と戦術支援に関する研究として、サーブレシーブがその試合にどの程度影響したかを、各ローテーションフェイズごとに得点推移を算出し、勝敗に及ぼした要因を明らかにした。67 - 72 p.
2 国際女子バレーボール試合における各ローテーションフェイズのチーム失点率指数に関する研究	共	2008 3月 年	日本バレーボール協会医科学委員会 テクニカルスタディー 2007 「日本バレーボール協会」	バレーボールの試合の流れの分析と戦術支援に関する研究として、サーブレシーブが試合にどの程度影響したかを、各ローテーションフェイズごとの推移を算出し、勝敗に及ぼした要因を明らかにした。73 - 78 p.
（その他） 1 バレーボールにおけるゲームの流れの分析と戦術支援に関する研究 - 報告書 -	共	2008 3月 年	2007年度国立スポーツ科学センター 依託研究「日本バレーボール協会医科学サポート委員会」	本報告書は、全日本男女ナショナルチームの競技力向上を図るため、様々な角度からデータを収集・分析し、より効果的な「戦術支援システム」の開発を試みまとめたものである。